

シンポジウム

関東の大雪に備える



日時:平成28年12月10日(土)
13:00~18:00(開場 12:30)

場所:気象庁講堂(東京都・大手町)

※参加無料・事前申し込み不要



南岸低気圧による関東大雪の
発生機構と予測特性

★荒木健太郎 気象庁気象研究所 研究官



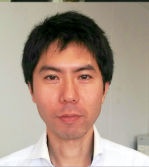
非降雪地域での大雪による
交通への影響とその対策案

★佐々木邦明 山梨大学 教授



関東の雪予報への挑戦
悩ましくもおもしろい現象との向き合い方

★寺川奈津美 気象キャスター



地理情報システム(GIS)を活用した
データ収集・共有の提案

☆縫村崇行 千葉科学大学 助教



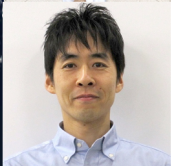
積雪が稀な地域特有の雪氷災害
どんな観測が重要か?そのデータ何に使う?

★松田益義 MTS雪氷研究所 代表取締役



2014年関東大雪に対する
政府の応急対応とその後の対策

☆藤條聡 内閣官房 企画官



積雪荷重による
温室の被害と対策

★森山秀樹 農研機構農村工学研究部門
上級研究員



総合討論

「大雪にどう備えるか?」について、来場者の
皆さまとともに議論し、講演者によるパネル
ディスカッションを行います。

主催:日本雪氷学会 関東・中部・西日本支部

日本気象学会 メソ気象研究連絡会

世話人:上野健一(筑波大学), 荒木健太郎(気象研究所),
縫村崇行(千葉科学大学)

問い合わせ: snowsympo2016@mri-jma.go.jp

Web: <http://www.mri-jma.go.jp/Dep/fo/fo3/araki/2016snowsympo.html>

